

## 米国 ガソリン価格の下落で減少も基調はしっかり (06年9月小売売上高)

発表日：06年10月13日(金)

～7-9月期の小売売上高(除く自動車・ガソリン・建材)は前期から加速しており消費の堅調持続～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

### 小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
		除く車			自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
05/09	+0.4	(+6.7)	+1.3	▲1.4	▲3.2	+2.6	+1.1	+1.4	▲0.8	+6.7
05/10	+0.1	(+6.2)	+0.8	▲1.1	▲2.3	▲1.7	+0.6	+0.7	+3.0	▲1.6
05/11	+0.6	(+6.7)	▲0.4	+3.3	+4.7	+0.5	+0.2	▲1.0	▲0.1	▲6.2
05/12	+0.4	(+5.8)	+0.2	+0.6	+1.4	▲0.7	▲1.2	+0.3	▲0.2	▲0.0
06/01	+3.0	(+9.4)	+2.7	+5.2	+4.1	+6.6	+7.1	+1.7	+2.6	+4.5
06/02	▲0.8	(+7.4)	▲0.2	▲2.4	▲3.1	▲2.6	▲3.5	+0.3	▲1.1	▲1.3
06/03	+0.7	(+8.0)	+0.6	+1.2	+1.3	+0.4	▲0.1	+0.3	+0.5	+0.4
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.7	+2.7	+4.1	▲0.1	+0.7	+0.7	+1.2	+1.5
06/08	+0.1	(+6.4)	+0.2	▲0.1	▲0.4	▲0.1	+0.1	▲0.0	▲0.2	▲1.3
06/09	▲0.4	(+5.5)	▲0.5	+0.2	+0.0	+0.2	+0.2	▲1.0	+3.0	▲9.3

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、( )内は前年同月比(未季調)。

\*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

\*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

### 自動車を除く小売売上高は前月比▲0.5%と市場予想を下回った

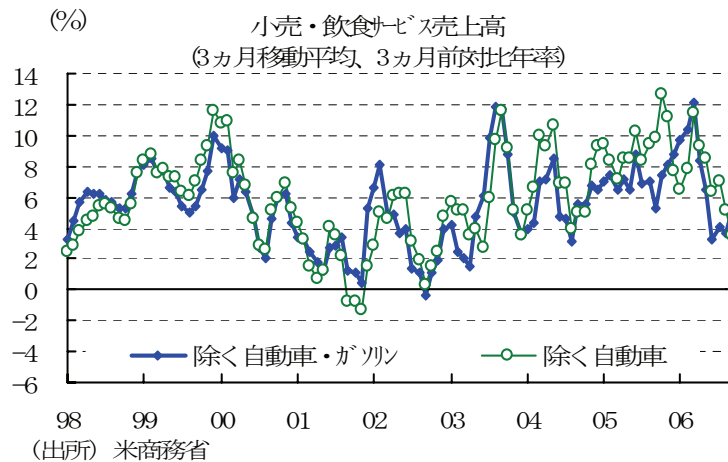
06年9月の小売・飲食サービス売上高は、価格の下落によるガソリン販売の減少によって前月比▲0.4% (前月同+0.1%)と市場予想の同+0.2%を下回った(7、8月合計で0.1%ポイント下方改定)。項目別にみると、耐久財では自動車、家具が増加に転じたうえ、家電の増加ペースが小幅速まった。一方、非耐久財では衣料品販売が増加したものの価格の下落によってガソリン販売が急減したため、全体でもマイナスとなった。なお、9月の自動車販売は8月分が予想通り下方改定され、9月の新車販売台数が前月から増加したにもかかわらず、前月比横ばいとなった。このため、来月上方改定される可能性が高く、全体のマイナス幅も縮小すると予想される。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高も、ガソリン販売の減少で前月比▲0.5%と前月の同+0.2%からマイナスに転じ、市場予想である同+0.0%を下回った(7、8月合計で0.1%ポイント下方改定)。

一方、全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高が前月比+0.6% (同+0.2%)と加速したように、9月の小売売上高の落ち込みはガソリン価格の下落によるものであるが、ガソリン価格の下落がガソリン以外の小売を押し上げたとみられる。

**小売売上高の基調は  
過熱感のない拡大ペース**

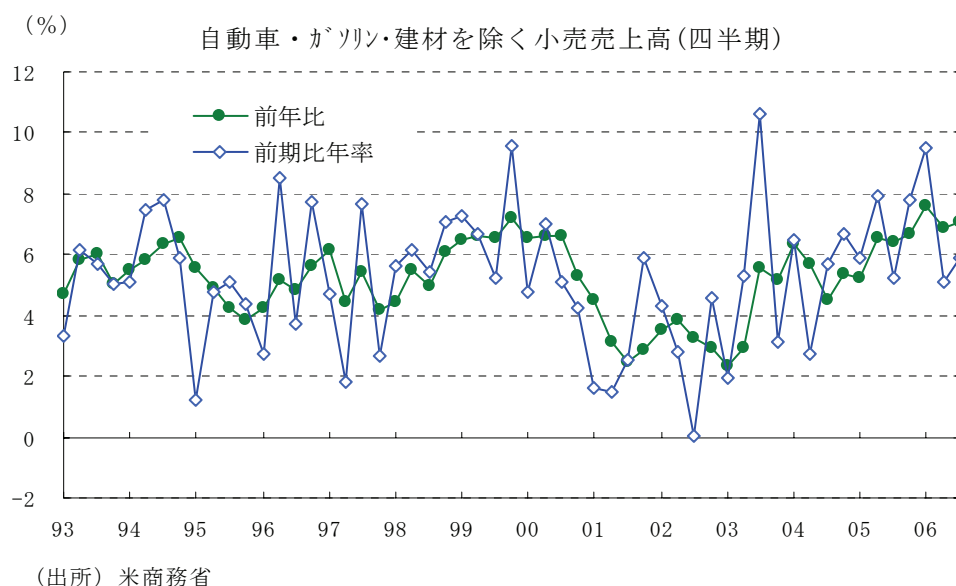
小売売上高の基調を3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+3.6%（前月+5.2%）と鈍化したもののガソリン販売の減少の影響が大きく、自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高は9月に+5.2%（同+3.7%）と小幅加速し、堅調さを維持している。



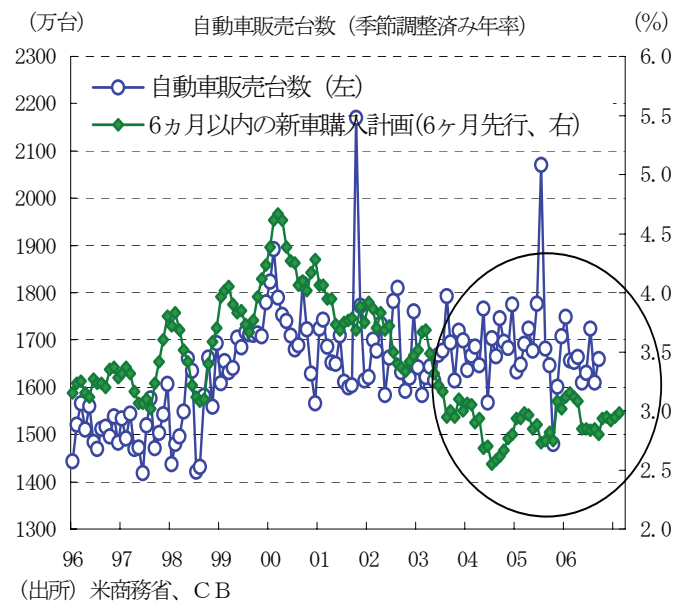
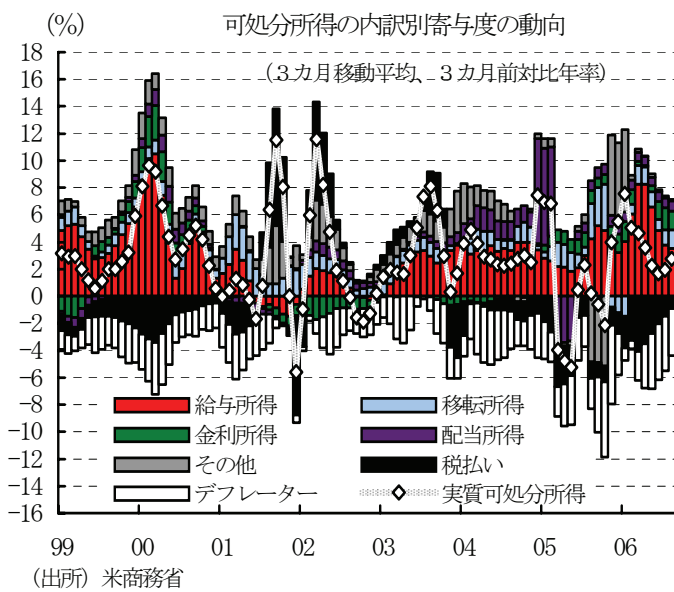
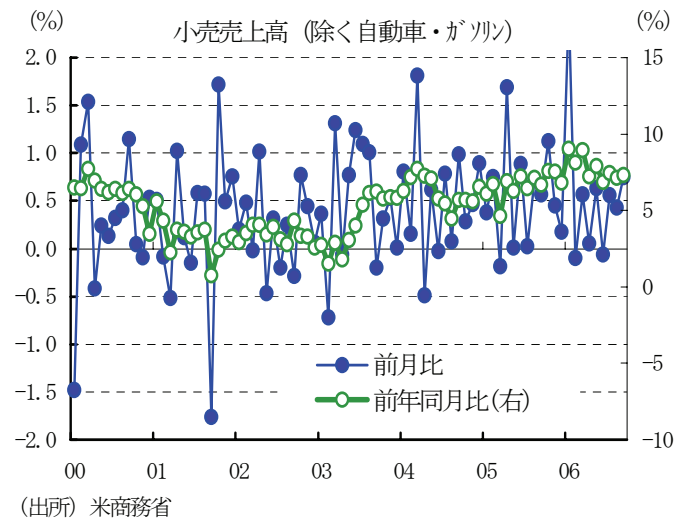
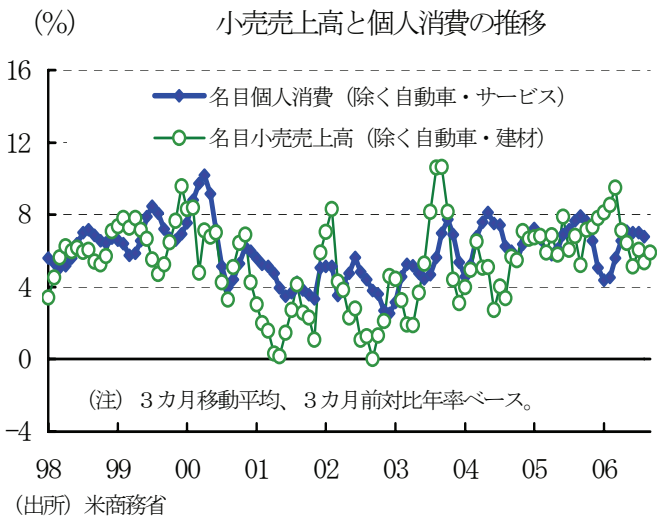
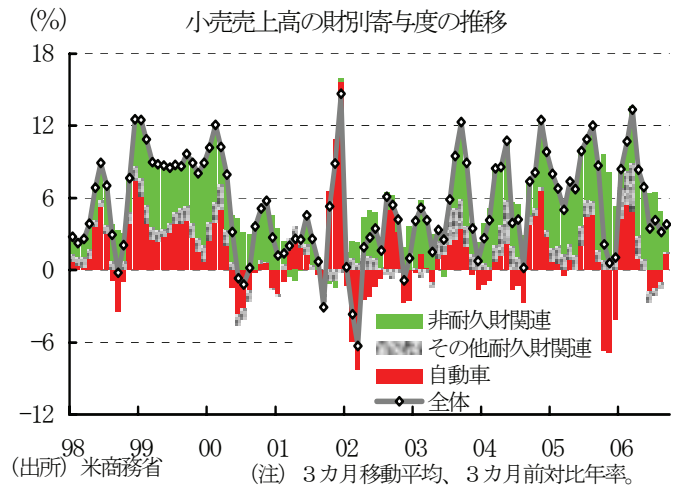
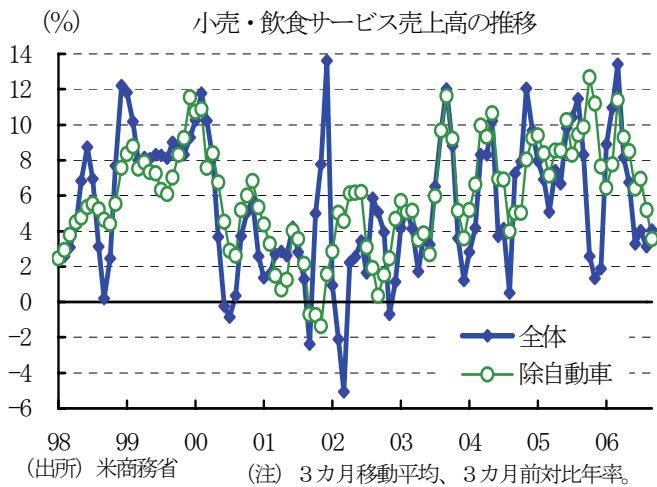
**7～9月期の個人消費は前期比年率+3.3%が予想される**

GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、9月に前月比+0.8%（前月同+0.4%）と加速した。7～9月期では前期比年率+5.9%と4～6月期の同+5.1%から加速し、さらに7～9月期の自動車販売台数は季節調整済み年率1665万台と4～6月期の同1635万台から小幅増加している。以上のことを勘案すると、7～9月期の実質個人消費は前期比年率+3.3%と4～6月期の同+2.6%から加速すると見込まれる。

10月入り後の消費動向では、チェーンストア小売売上高は10月の第1週に前週+0.5%と5週間ぶりに上昇し、前年比でも+3.7%と安定的な拡大ペースを維持している（先行きの消費を取り巻く環境についてはWeekly Global Economy参照）。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。